

平成28年4月21日
九州地方整備局
20時30分現在

4月22日（金）10時頃「グリーンロード南阿蘇（25km）」が通行可能に。

～ 平成28年熊本地震に関する九州地方整備局の取り組み（第23報）～

1. 概要

- 土砂崩落で、一部区間が通行止めとなっている熊本市街から南阿蘇村方面への東西軸の一つである、「グリーンロード南阿蘇（25km）」の啓開作業が完了し、明日4月22日（金）10時頃（見込み）に利用が可能となります。
- 熊本港内では、九州地方整備局所有船「海輝」と「海煌」による飲料水の提供を行いました。明日4月22日（金）も午前8時より継続して提供します。
- 今回初めて一堂に会した全国各地のTEC-FORCEが、災害支援を加速化するため、今後の支援に向け集結式で決意表明を行いました。

2. 本部体制状況

- 災害対策本部 4月14日21時26分～ 非常体制継続中
- 災害等支援本部 4月17日 9時00分～ 非常体制

3. 災害支援等対応状況について

（1）リエゾン派遣状況＜震度6強以上を中心＞

・15市町村：38名（21日9時00分時点）

【熊本県：3】、【熊本市：3】、【益城町：3】、【御船町：2】、【嘉島町：3】、
【西原村：2】、【大分県：3】、【大津町：2】、【菊池市：1】、【宇土市：3】、
【阿蘇市：2】、【高森町：3】、【菊陽町：2】、【南阿蘇村：4】、【甲佐町：2】
【産山村：4/18撤収】、【合志市・宇城市・日田市：4/17撤収】、
【和水市・八代市・大分市：4/16撤収】



阿蘇市長からの要望聞き取り



熊本県庁災害対策会議で情報収集

(2) TEC-FORCE派遣対応状況

<TEC-FORCE 合計380人 (これまでの最大) >

・TEC-FORCE 合計380人 (九州120人、他地整260人) (21日8時00分時点)

【熊本県】道路被災等調査	3班10人
【熊本市】道路被災等調査	11班36人
【益城町】道路被災等調査	9班35人
【御船町】道路点検等調査終了	
【西原村】道路被災等調査	3班12人
【大津町】道路被災等調査	8班31人
【菊池市】道路被災等調査	4班15人
【阿蘇市】道路被災等調査	12班56人
【南阿蘇村】道路被災等調査、機械支援	16班63人
【甲佐町】道路被災等調査	3班13人
【和水町】道路被災等調査	1班1人
【嘉島町】道路被災等調査	1班3人
【宇城市】道路被災等調査	6班21人
【へり調査】	2班4人
【物資輸送】	1班2人
【本局TEC指令室】	20班78人

※上記の内他地整応援状況 (TEC司令部含む)

北海道	宇城市被災状況調査ほか	31人
東北地整	甲佐町被災状況調査ほか	24人
関東地整	益城町被災状況調査ほか	32人
中部地整	西原村被災状況調査ほか	33人
北陸地整	大津町被災状況調査ほか	26人
近畿地整	菊池市被災状況調査ほか	43人
中国地整	阿蘇市被災状況調査ほか	40人
四国地整	南阿蘇村被災状況道路調査ほか	24人
沖縄	九州到着	7人



全国からTEC-FORCE隊が集結



道路被災箇所を調査



熊本市に橋梁点検結果を報告 (4/18)



現地にて関係機関と打合せ

4. 防災ヘリの活動状況

○はるかぜ号（九州地方整備局）

- ・ 4/16 被災状況調査 4名（整備局2名・国総研1名・土研1名） 8:31～10:06, 13:57～16:29
- ・ 4/17 南阿蘇村被災状況把握（整備局1名） 9:09～11:37, 13:02～15:08
- ・ 4/18 垂直撮影による被災状況調査 10:34～12:28
- ・ 4/19 竹田、産山村周辺の被災状況調査（整備局2名、国総研3名） 8:00～18:00
- ・ 4/20 菊池、合志市周辺の被災状況調査（国総研1名、土研1名） 10:30～13:00
- ・ 4/22 被災状況調査（予定）

○愛らんど号（四国地方整備局）

- ・ 4/16 被災状況調査 11:30～14:15 被災状況調査
- ・ 4/17 被災状況調査（局1名・本省1名・国総研1名・土研2名） 11:15～12:58, 15:10～16:05
- ・ 4/18 道路調査4名（整備局1名・土研3名） 8:35～10:10, 14:00～16:55
- ・ 4/19 被災状況調査（局1名・本省1名・国総研1名・土研2名） 13:39～16:00, 16:40～18:20
- ・ 4/20 被災状況調査（5名） 8:20～9:40、10:00～12:00、13:40～16:00

○ほくりく号（北陸地方整備局）

- ・ 4/16 被災状況調査5名（整備局1名・本省1名・国総研1名・土研2名） 11:02～17:15
- ・ 4/17 被災状況調査 16:39～17:55
- ・ 4/18 砂防調査3名 8:22～18:20
- ・ 4/20 被災状況調査 8:00～11:00（2名）、11:00～13:00（3名）、14:40～16:00（5名）
- ・ 4/22 砂防調査（予定）



5. ドローン活動状況

TEC-FORCE協定業者とドローンによる上空調査を実施。

【南阿蘇村】被災状況上空調査を2班8人体制で実施



6. 災害対策機器現地派遣状況

○照明車 37台（役場、被災現場等30台）

- ・市町村支援（役場：嘉島、大津、益城、南阿蘇、宇土市）計5台
 - ・運動公園等（益城、県民総合3、グランメッセ13、阿蘇国道、道の駅大津）計19台
 - ・被災復旧現場等（緑川堤防復旧）計11台
 - ・加勢川右岸 9K800、御船川右岸 2台
- ※上記の内、他地整からの応援台数16台（近畿7、中国9）うち8台使用中



災害対策用車両が被災地に集結



照明車による夜間作業支援（益城町役場）

○生活用水等 4台（南阿蘇村2、熊本赤十字病院、九重町）

- ・散水車（南阿蘇村2、熊本赤十字病院1）
- ・排水管清掃車（九重町1）

○バックホウ 13台

- ・ロボQ、遠隔BH、分解BH（待機中：R57法面崩壊現場）3台
- ・分組BH（待機中：九州技術事務所）10台

○その他 16台

- ・情報収集車（稼働中：南阿蘇村）1台
- ・待機支援車（待機中：嘉島）1台
- ・待機支援車（待機中：阿蘇国、八代、山鹿、道の駅菊水2、西原村、宇土）7台
- ・対策本部車（稼働中：グランメッセ熊本）2台
- ・対策本部車（待機中：山鹿、菊水浄水センター、道の駅菊水）4台
- ・橋梁点検車（稼働中：熊本市土木センター）1台

※上記の内、待機支援車7台（関東4、中部2、中国）
対策本部車4台（関東、近畿2、中国1）

7. 防災通信機器派遣状況

○衛星通信車 8台派遣

- ・市町村支援（益城町、南阿蘇村役場） 3台
- ・復旧工事箇所（国道57号） 2台
- ・グランメッセ熊本 3台

○Ku-SAT 3台派遣

- ・グランメッセ熊本 1台
- ・熊本河川国道事務所 1台
- ・熊本河川国道緑川下流出張所 1台



Ku-SAT（衛星通信装置）



南阿蘇村長室にモニターを設置し映像提供

8. リエゾンによる被災自治体からの要望等への対応状況

○被災地の調査等

○主な物資支援

・ブルーシート（2,362枚）、土嚢袋（21,400復路）、飲料水（2L×16,120本）、パーテーション（132個）

○4月16日15時より、「海輝」、「海煌」により熊本港内フェリーターミナル近くにて、飲料水提供。
（累計 2,553人、66,100L ※4月21日17時現在）



海輝からの飲料水の提供



海煌からの飲料水の提供

○他地整からの緊急支援船運搬状況

・北陸地整

支援船 白山（飲料水 ペットボトル 約17,000本、食料、医薬品、衛生用品等）

新潟港 4/18 16時15分発 → 4/21 博多港6時50分着

・中部地整

支援船 清龍丸（飲料水 ペットボトル 約20,000本、食料×約3,000食）

名古屋港 4/18 10時00分発 → 4/20 7時20分 大分港入港

・近畿地整

支援船 はやたま（飲料水 ペットボトル 約500本 ブルーシート、断熱アルミシート等）

名古屋港 4/19 8時00分発 → 4/20 10時20分 別府港入港

・中国地整

支援船 おんど2000（飲料水 ペットボトル 約1,500本）

呉港 4/18 7時50分発 → 14時15分 別府港着

支援船 りゅうせい（飲料水 ペットボトル300本、食料約2,000食）

広島港 4/18 14時00分発 → 16時40分 別府港着

・四国地整

支援船 いしづち（飲料水 ペットボトル×1,500本）

松山港 4/18 8時05分発 → 15時00分 別府港着

支援港 くるしま（飲料水 ペットボトル1,800本）

松山港 4/18 8時10分発 → 13時00分 別府港着

※陸送にて以下の市村に搬送

【搬送済】 大分県由布市、熊本県嘉島町（日本埋立浚渫協会の協力）

熊本県阿蘇市・南阿蘇村・西原村（大分県港湾建設協会の協力）

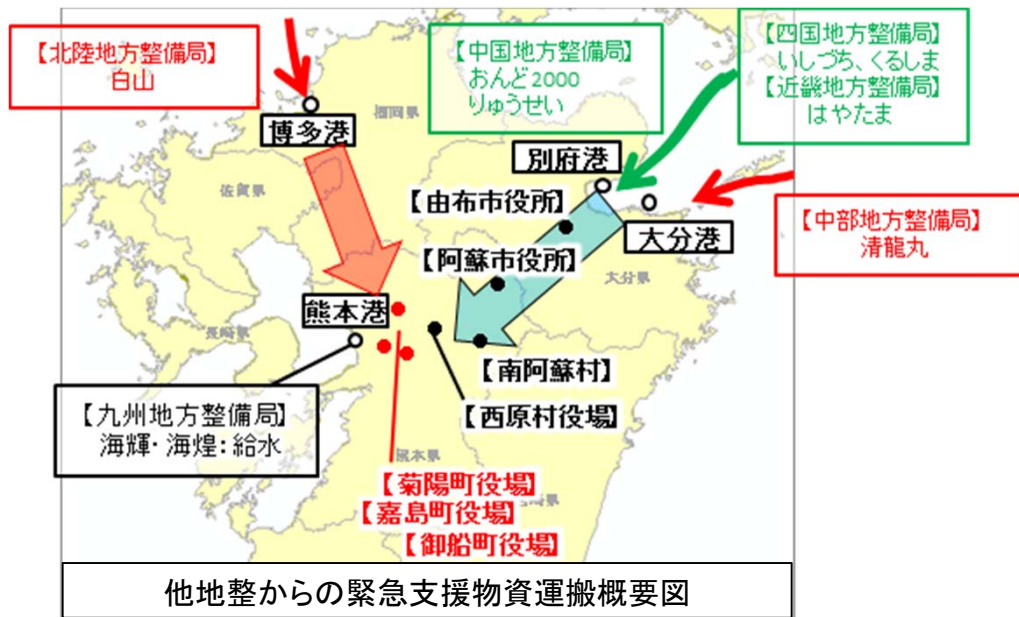
【搬送済】 熊本県御船町（日本埋立浚渫協会の協力）



白山が博多港入港



白山より支援物資を搬出



9. 国管理道路の情報

○熊本県

- ・ 国道57号 阿蘇大橋地区斜面崩壊 [熊本河川国道]
 <81k100付近 阿蘇郡南阿蘇村 土砂崩壊>
- ・ 国道210号 日田市天瀬町大字合田～玖珠郡玖珠町大字戸畑 [大分河川国道]
 <51k280付近～64k640付近>
 ※落石の感知センサーが異常を示し、落石の恐れがあるため

10. 所管施設の状況

1) 国道57号

- ・ 光ケーブル切断 (南阿蘇村 立野付近)
- ・ 阿蘇市永草 74k900付近上り 路面亀裂 応急復旧完了
- ・ 大津町引水 91k500付近 引水跨線橋 段差 応急復旧完了
- ・ 南阿蘇村立野付近 83k700付近 立野跨線橋 段差 応急復旧完了
- ・ 熊本市東区長嶺町 113k300付近 託麻跨道橋 段差 応急復旧完了
- ・ 熊本市東区御領 103k770付近 東原橋 橋梁損傷 規制必要なし
- ・ 熊本市東区神水本町 111k360付近 江津斎藤橋 段差 応急復旧完了

(2) 国管理河川

- ・ 緑川 堤防天端にクラック等を確認
- ・ 白川 堤防天端にクラック等を確認
- ・ 菊池川 堤防天端にクラック等を確認
いずれも応急対策は完了
- ・ 緑川ダム 舗装のひらき等を確認
応急対策は完了

(3) 港湾

管内の港湾については、熊本港において一部利用制限があるものの、他の港はほぼ通常通り利用可能となっている。

- ・ 熊本港 (熊本県) 島内の臨港道路・駐車場：段差があり、車の通行不可のため、迂回路を確保。応急復旧が完了し22日から運航再開。

(4) 空港

熊本空港(熊本県) 空港基本施設 運用に支障なし。(但し、空港ビルディング 建築被害)
19日より一部運航再開。

(5) 官庁施設

38の官庁施設について、被害を確認。

熊本市からの要請により、熊本地方合同庁舎A棟が熊本市の緊急避難施設に指定された。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部 広報班

電話:092-414-7301(本部直通) FAX :092-481-9210(本部直通)

【参 考】

リエゾン(災害対策現地情報連絡員)とは

フランス語で『組織間の連絡、連携』の意味。災害時に自治体との連携を密接に図るため、被災した自治体からの情報を待つのではなく、自治体へ直接派遣して被災情報を収集し、災害対策車の派遣など国から自治体への支援や復旧活動を迅速かつ円滑に行えるようにするもの。

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)とは

■目 的

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

■主な任務

被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

- ①被災状況の迅速な把握
- ②被害の発生及び拡大の防止
- ③被災地の早期復旧